

OPAC 通信

Okinawa
Peace Assistance
Center

特定非営利活動法人
沖縄平和協力センター (OPAC)
沖縄県那覇市久米 1-5-18 福福ビル 201-B
TEL (098) 866-4635 / FAX (098) 866-4638



www.opac.or.jp
(<http://blog.livedoor.jp/opac/>)

2012 November

OPACのロゴマーク
沖縄を飛び出し世界の
現場で活躍することを
イメージしました。

Transforming Okinawa's Heart into Action

JICA 青年研修

東ティモール経済行政（産業振興）コース 実施

11月11日（日）から11月30日（金）の約20日間にわたって行われた東ティモール青年研修（経済行政コース）について報告します

今回は東ティモールの経済行政及び地域振興に携わる青年リーダー21人が研修員として来沖し、同じ島嶼性という特徴を持つ沖縄の取り組みを学び、東ティモールでも利用可能なノウハウを習得してもらうという目的の下に研修が行われました。

研修前半は沖縄の戦後復興についての講義や、沖縄県庁を訪問し県の産業政策について講義を受けました。後半は21人大型バスに乗り込み、読谷村の村づくりの取り組み、JA沖縄の農業振興支援、名護市の取り組みなどについて視察等を行いました。

研修員は大学関係者、国家公務員、NGO、地方自治体などの多彩な構成をなっており、講義では様々な質問が矢継ぎ早に飛び交い「質問の時間が足りない!」と言われるほどでした。

例年、青年研修ではアクションプランと呼ばれるものを作成します。帰国後に研修で得た知識をいかにして利用するのかを具体的にプロジェクトの企画書にしてもらったものです。今回の企画書作成では、研修員の議論にとっても熱がこもっており真剣そのものでした。帰国後もこの熱意を忘れず今後の国づくりに生かしてぜひとも頑張してほしいと願うばかりです。



質問をする研修員



沖縄観光コンベンションビューローにて



沖縄県庁での講義

編集後記

初めて OPAC 通信を担当しました。今年9月に行った4人の研修員受け入れと比べ、21人の個性的なメンバーが集まった今回は圧巻でした!

お聞かせできないのが残念ですが、閉講式では東ティモール人が歌う「島人ぬ宝」をギター演奏つきで聞くことが出来ましたよ。帰国後も「いちやりばちよーでー」精神を忘れず、仲間とがんばって欲しいですね。(樋口)